

2012年3月30日
東京都古書籍商業協同組合

4月11日(水)、12日(木) 業者向け古書市場デジタル入札会
古書交換会で「スマート・ビッド・システム」試験導入

古書取引市場の運営や古書取引に関する知識の普及活動を行う東京都古書籍商業協同組合（本部：東京都千代田区、理事長：小沼良成、略称：東京古書組合）は、4月11日、12日、これまで現物取引に限定してきた古書交換会（市場）を初めて全面デジタル化し、全国約2,300店の古書店が、いながらにしての取引に参加できる「スマート・ビッド・システム」（ネット入札システム）を試験導入いたします。

東京古書会館などで開催されている業者向け古書オークション「古書交換会」は、これまで、現物を見たうえで、希望金額を紙に書いて入札する「置き入札」方式を続けてきました。このため参加古書店は東京古書会館に足を運ぶ必要があり、地方の古書店などは参加の機会が限られていました。また、落札者を決める「開札作業」も手作業で行うため多くの人員を必要とし、時間もかかっておりました。

今回、東京古書組合では、清算情報参照や情報交換の為に使用されていた、組合内システム「エクストラネット」を大幅に改修し、市場への出品や入札から、開札作業を一括してデジタル化、全国の古書組合加盟古書店約2,300店が、古書交換会に参加できるようになりました。また、「現物を見て入札したい」という要望も強いことから、同会館内で現物を見ながらスマートフォンやipodを使って入札できるよう、専用アプリを開発しました。

さらに、開札作業にバーコードリーダーを使用することで、落札者を瞬時に決定。必要な時間と労力を大幅に削減できる見込みです。

4月11・12日の古書交換会では、各地の加盟業者から東京古書会館に集められた商品を、全国の古書店がエクストラネットから入札するほか、同会館では、主に首都圏の古書店がipodなどを使って入札する見込みです。

【出品商品一例】



古版 涅槃図 四種
江戸時代刊 三枚彩色



光悦謠本 田村
慶長中刊 古活字版 原装上製色替り料紙

【デジタル入札会イメージ】



2012年3月14日(水)の古書交換会(東京資料会)にて行われた予行入札会

【古書交換会とは】

各古書店はそれぞれ特長があり、専門性の高い品揃えのところが少なくありません。それを可能にしているのが、組合で開催している交換会(市場)です。一般書、専門書から洋書、和本、唐本、資料雑誌類など、さまざまなジャンルが活発に取引され、相場の形成がなされます。古書の値段は個々の古書店で勝手に決めているのではなく、市場での取引により相場が決定しているのです。また、組合の全国的なネットワークにより、貴重な本を本当に必要とするひとの手に渡すことができます。

【組合概要】

名 称：東京都古書籍商業協同組合
理 事 長：小沼 良成 (おぬま よししげ)
本 部：〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-22
設 立：昭和 22 年 9 月 11 日
組 合 員：648 名(平成 24 年 2 月末現在)
事業内容：古書市場の開催・運営
古書に関する情報提供、知識の啓蒙と普及活動
古書検索サイトの運営など

【お問い合わせ先】

東京都古書籍商業協同組合 広報部 デジタル入札会担当
TEL : (03)3293-0161 FAX : (03)3291-5353